

岸田総理大臣のアフリカ4カ国およびシンガポール訪問

4月29日(土)～5月5日(金)

カイロ、アクラ、ナイロビ、マプト、シンガポール

inout
&

岸田文雄総理大臣は4月29日から5月4日にかけて、エジプト、ガーナ、ケニア、モザンビークのアフリカ4カ国を訪問した。ロシアのウクライナ侵略によって国際秩序の根幹が揺らぐなか、各国首脳と意見交換を通じて、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化の重要性を共有し、引き続き緊密に連携していくことを確認した。またスーダン情勢の安定化に向けての協力についても話し合われた。5日、シンガポールにおいては、今年が日・ASEAN 友好協力50周年であることも念頭に、リー・シェンロン首相と会談。各国首脳との会談は、G7 広島サミットでの議論の充実にもつなげられる機会となった。



ガーナに到着し、アクフォ＝アド大統領の出迎えを受ける岸田首相(内閣広報室)

林外務大臣の中南米5カ国訪問

4月29日(土)～5月7日(日)

ポート・オブ・スペイン、ブリッジタウン、リマ、サンティアゴ、アスンシオン



ペニャ・パラグアイ次期大統領を表敬する林外相

林芳正外務大臣はトリニダード・トバゴ共和国、バルバドス、ペルー共和国、チリ共和国、パラグアイ共和国の中南米5カ国を訪問。ロシアによるウクライナ侵略、中国、北朝鮮を含む東アジア情勢などの国際社会の諸課題についての意見交換と、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するために今後の連携の強化を確認した。また、鉱物・食料・エネルギー資源が豊富な中南米諸国は今般の国際情勢においてその重要性が増しており、二国間経済関係の強化に向けて話し合う機会ともなった。